

春山山行 上高地から雪の徳本峠

2018年5月4日～5日

<参加メンバー> 4人(男性2人、女性2人)

<天候> 1日目 曇り時々雪(強風)、未明吹雪、2日目 曇り後晴れ

<コースタイム>

5/3夜 21:40 梅田・阪急三番街BTから夜行高速バスに乗車
5/4 6:20 松本BT着 — 6:31 松本駅
— 7:01 新島々駅 — 8:35 上高地
(出発準備) 9:15 発 — 10:40 明神池 — 10:58 徳本峠分岐 —
13:40 徳本峠
5/5 4:30 起床、6:35 出発 — 9:13 徳本峠分岐 — 嘉門次小屋(休憩、食事) — 11:35 上高地・河童橋

<山行の概要>

春山山行として当初、常念岳のピストンの予定であったが、「ヤマテン」では荒天による大荒れ情報が出ていたため、出発間際に山域を徳本峠越ルートに変更して入山した。到着した上高地は小雪が舞う天気で、前日が降雪であったようで結構積雪があった。

徳本峠までの道は夏道とは違って、ほとんどが沢の直登ルートとなっていた。高度を増すにつれて勾配がきつくなり、トラバースルートとなつてからしばらくして峠に到着した。

西南西の強風との予報であったので、樹林の位置を見定めて小屋の近くにテントを張った。夜間はかなりの吹雪となった。

下山は峠越えで島々へと抜けるつもりであったが、未明の積雪によりトレースが消えており、時間の関係もあって往路を戻ることにした。早く下山できたので、嘉門次小屋でイワナの塩焼きなどを食してから、ゆっくり景色を楽しみながら上高地へと戻った。他の参加メンバーは、アルプスの雪山初体験であったので、比較的安全な場所で吹雪と強風を体験し、良い経験ができたのではないかと勝手に思っている。



1. 早朝、松本BT着 荷物を降ろす



2. 新島々まで松電に乗る この時小雨模様



3. 電車の中から綺麗な大きな虹が見えた



4. 新島々駅に着き、上高地行きバスに乗換える



5. 上高地に到着。小雪混じりで風があり、急いで建物の中に入り、出発準備をする



6. 準備が整い、いざ出発



7. 河童橋をめざす



8. いつもの河童橋にて 穂高は雲の中



9. 散策道の木道には雪が積もっていた



10. 明神池の穂高神社奥宮にお詣りし、徳本峠をめざす



11. 明神館付近にはフッキソウの群落があった



12. 明神館前にて



13. 徳本峠分岐を通過



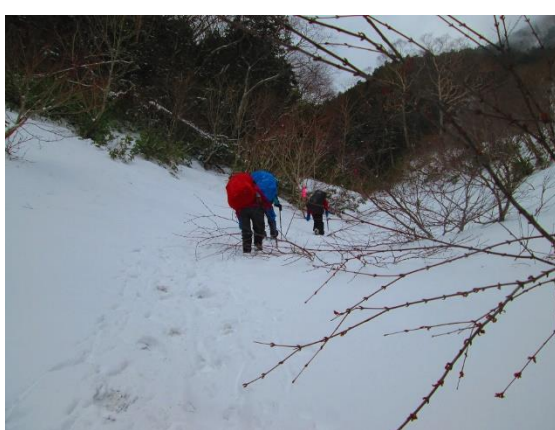
14. 雪が降り出し、カッパを着る



15. 雪の中、ひたすら雪の斜面を登る



16. 明神岳の上部はやはり雲の中



17. だんだん谷が狭まり、傾斜もきつくなる



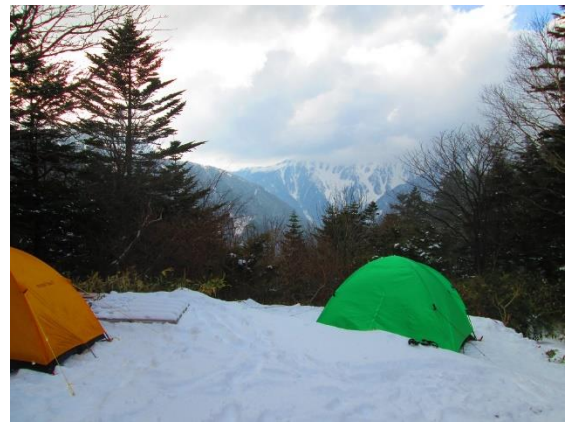
18. ルートがトラバース気味になり、峠が近くなってきた



19. 峠に到着し、風が強まる前にテントの設営にかかる



20. これが今宵の安らぎの我テント



21. 我々以外にテントが3張りあった。奥の穂高はやはり雲の中であった



22. 早朝、テントを撤収し、下山準備



23. 出発前、徳本峠小屋前でパチリ



24. 新雪の積もった急斜面を下る。湿雪のため、アイゼンに雪団子が付きよく転んだ



25. だんだん上部の雲がはがれ出してきた



26. 沢の水が見えだし、沢のルートは間もなく
終わり



27. ようやく明神岳のピークが見えだした
頂上から雪煙が上がっている



28. 雪がすくなくなりアイゼンを外す



29. 徳本峠分岐に到着



30. 分岐の近くの橋のたもとで明神岳をバック
に



31. 嘉門次小屋途中の道に咲くエンレイソウ



32. ニリンソウとフッキソウ



33. 嘉門次小屋で食事。軽く一杯やっしまいました



34. 梓川の清流



35. 奥穂、前穂の吊り尾根
下山してからのこの素晴らしい眺望、皮肉
だがよくあるパターン



36. 河童橋近くのビューポイントにて
北撮の乙女？とハゲのおっさん二人